

～～第8245回～～

木曾駒ヶ岳

～H29. 8. 5-6

1日目：台風5号の進路を心配したが影響なしと判断し、安倍川駅前を5:00にレンタカーで出発して8:00に現地着。8:30、桂小場登山口(1,280m)スタート。くもり空の下、良く手入れのされた登山道の樹林帯をひたすら進む。このコースからの登山者は少なく、宿までの間に5、6人とすれ違っただけ。馬返し分岐を通過、大樽避難小屋(2,070m)で昼食。2,000mを超えてきた、あと半分頑張らねば！2時間程登り、疲労が溜る頃に胸突八丁で少し急登になり、息が荒くなる。苦しいがひとふんばりすると、視界も広がり、クルマユリなど出迎えてくれる花畑で笑顔。しばらくして、西駒山荘(2,690m)に3:15着。大正時代に大量遭難事故があり、その後造られた石室は100年が経ち、山荘と隣接している。宿の管理人さんから花(タカネニガナ、ムカゴトラノオ、ウサギギク)の講義を受け、宿の裏手のコマクサの群生、宿内で山のビデオを楽しむ。外トイレでは便袋を使用(災害でも活かせる)。夜中、満月と流れ星を見た。明日も無事に。

記録：静岡西支部 つきじ

2日目：夜中には雲も取れ満天の星空、明日は晴れる。南アルプスの向う側が明るく、八ヶ岳方面から5:00御来光。5:10朝食。山荘の広場には小さなコマクサが咲いていた。広がる雲海、透き通った青空、雄大な南アルプス、全ての山並みが見渡せ、中央部に富士山も見える。5:50西駒山荘を出発。西駒から明るい尾根に出る。しばらくハイマツと砂礫の広い稜線を進むと遭難記念碑がある。途中、濃ヶ池の分岐を過ぎ、馬の背の稜線にはチングルマ、ミヤマキンバイ、ミヤマアキノキリンソウ、イワギキョウ、イワツメクサ、ウサギギク等、高山植物が多い。稜線から見下ろすと濃ヶ池が白く見える。岩場の道を登ると木曾駒ヶ岳山頂に8:40到着する。ここまで来ると大勢の人が千畳敷から登って来たと思われる。空木岳、宝剣岳、中岳の山容を目前にし、8:55下山。中岳の巻き道を経由し中岳分岐に9:30、宝剣山荘で休憩後9:40宝剣岳へ出発。頂上付近は下から見ても傾斜がきつい岩場で鎖が何度も現れ、すれ違いは不可能。宝剣岳山頂に10:25着。狭い岩場で回りはガスで展望なし。長居は出来ず下山する。下りは急な傾斜を感じながら降りて、三ノ沢分岐を過ぎ、極楽平から千畳敷に向かう。斜面をハクサンイチゲ、シナノキンバイ、イワカガミ、ミヤマキンポウゲ、クロユリ、エゾシオガマ、などの高山植物が黄色に染める。千畳敷では多くの観光客で賑わっていたが、千畳敷ロープウェイは待つことなく「しらび平」に到着する。タクシーで桂小場駐車場に向かう。帰りに「みはらしの湯」に立ち寄り帰路に着く。天候に恵まれ沢山の花々を見ることが出来た。

参加者：6名(静岡西)

天候：①くもり(夕方雨) ②晴れのちくもり

地図：木曾駒ヶ岳

コースタイム：安倍川駅 500＝桂小場登山口 800-30…水場 905…馬返し分岐 1100…大樽避難小屋 1140-1215…胸突八丁 1425…西駒山荘(泊) 1515-550…濃ヶ池分岐 640…頂上山荘分岐 820…木曾駒ヶ岳山頂 840-55…中岳分岐 930…宝剣山荘 940…宝剣岳 1025…三ノ沢分岐 1110…極楽平 1140…千畳敷 1200++しらび平 1210＝桂小場駐車場 1320＝静岡 1720



遭難記念碑付近から見た木曾駒ヶ岳、他



ガスに霞む宝剣岳直下の縦走路



登山道から木曾駒ヶ岳(右)、中岳(左)



宝剣岳を下る



西駒山荘で高山植物鑑賞会